

法吉団地のお客様各位

2025年2月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
 さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 95,670 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 101,430 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2024年12月	635.0 (\$/t)	2024年12月	為替レート(TTS)	154.85 (円/\$)
	2025年1月	625.0 (\$/t)	2025年1月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	630.0 (\$/t)	2025年1月	輸送運賃	8,800 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2024年12月	419.0 (\$/t)		※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 630.0 \times 154.85 \times 0.7 + (419.0 + 105.00) \times 154.85 \times 0.3 + 8,800 \\ &\doteq 101,430 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 101,430 - 95,670 = 5,760 → 5,700 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{5700}{100} \times 110\% = 13.1670 \doteq 13.16 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	618.69	631.85
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	517.62	530.78
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	427.77	440.93

法吉団地のお客様各位

2025年3月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2024年8月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 95,670 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 100,800 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2025年1月	625.0 (\$/t)	2025年1月	為替レート(TTS)	154.77 (円/\$)
	2025年2月	635.0 (\$/t)	2025年2月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	630.0 (\$/t)	2025年2月	輸送運賃	9,100 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2025年1月	400.0 (\$/t)		※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 630.0 \times 154.77 \times 0.7 + (400.0 + 105.00) \times 154.77 \times 0.3 + 9,100 \\ &\doteq 100,800 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 100,800 - 95,670 = 5,130 → 5,100 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{5100}{100} \times 110\% = 11.7810 \doteq 11.78 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	618.69	630.47
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	517.62	529.40
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	427.77	439.55

法吉団地のお客様各位

2025年4月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2024年8月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

- ① 基準平均原料価格 95,670 (円/t) (供給約款より)
② 実績平均原料価格 102,720 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2025年2月	635.0 (\$/t)	2025年2月 為替レート(TTS)	154.54 (円/\$)
	2025年3月	615.0 (\$/t)	2025年3月 米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	625.0 (\$/t)	2025年3月 輸送運賃	8,500 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2025年2月	469.0 (\$/t)	※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 625.0 \times 154.54 \times 0.7 + (469.0 + 105.00) \times 154.54 \times 0.3 + 8,500 \\ &\doteq 102,720 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額(100円未満切り捨て)} &= \text{実績平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ \text{今月の原料価格変動額} &= 102,720 - 95,670 = 7,050 \rightarrow 7,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{7000}{100} \times 110\% = 16.1700 \doteq 16.17 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。
ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	618.69	634.86
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	517.62	533.79
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	427.77	443.94

2024年8月改定